

小樽市立北陵中学校

小樽市清水町5番1号

☎ 0134-24-5500

KONPEKI

校 訓 よりよく創る



教育目標 小樽の未来をつくる 北陵生の育成

- 深く学び、考え、表現できる生徒
- 豊かに人とつながり、思いやりのある生徒
- たくましく心身を鍛え、自らを律する生徒

第5号

紺碧

「正しく褒める」

校長 吉岡智尋

少し前の話になります。

長い休みが明けたある日、低学年だった小学生の息子がうれしそうに「今日、いいことがあったさ。」と話しかけてきました。「どんな？」と聞き返すと、日直として朝の会を進行した時、担任から「久しぶりの日直なのに上手に進めたね。」とみんなの前で褒められたとのことでした。やはり、褒められると誰でもうれしいのだなと再認識しました。きっと息子は、担任のお世辞のおかげで次の日直もはりきって務めたことに違いありません。そして、私の周りにも自称「褒められると伸びるタイプ」の方が大勢いらっしゃいます。

さて、以前読んだ本に次のような興味深い実験結果が書かれていました。

10～12歳までの子ども400人にテストを受けてもらい、それぞれ本当の成績は内緒にし、全員に「100点満点中80点だった。」と告げます。そしてグループを3つに分け、グループ1には「本当に頭がいいんだね。」と褒める。2には、「努力のかがいがあったね。」と褒める。3は、何のコメントもしない。その後、『簡単な課題』と『やりがいのある難しめの課題』を2つ準備し、選択させ、取り組ませました。

その結果、難しい課題を選ばなかった割合は、

グループ	コメント	難しい課題を選ばなかった割合
グループ1	頭がいいと褒める	65%
グループ2	努力したねと褒める	10%
グループ3	何も言わない	45%

（中野信子「空気を読む脳」より）

実験者は、グループ1の結果に「頭がいい」という評価を失いたくないため簡単な課題を選んだ等いくつかの見方を示しています。そして、「褒め方には注意が必要で、その子のもともとの性質ではなく、努力や時間の使い方、工夫に着目して評価することが、挑戦する心を育て望ましい結果をもたらす」と結論づけています。

「褒める」ことは、自信を育て、自己肯定感を高めることに間違いありません。私も褒めることはとても大事なことでと考えています（そして、時に「叱る」ことも）。ただ、私たちの言葉がけ一つで子どもの「やる気」が関わってくるとなると責任重大です。子どもが「その気」になる温かい言葉がけをしなければと反省を含め、痛感しているところです。



潮ねりこみに参加しました！

お揃いの10周年記念Tシャツに身を包み、今年度は総勢81名で参加しました。当日は、元気よく「ワッショイ」と声を合わせ、楽しみながら最後まで踊りました。お手伝いや参加をしていただいたPTAの役員や保護者の方々には感謝申し上げます。来年も大梯団で参加し、北陵中みんなで盛り上がっていきましょう！



保育実習を行いました！！

家庭科の保育分野の学習で、7月6日（月）に3年2組、15日（水）に3年1組が、今年度も手宮幼稚園を訪問させていただき保育実習を行いました。お忙しい中、ご協力いただいた手宮幼稚園のみなさま、本当にありがとうございました。

～生徒のお礼のお手紙より～

・自分が卒園した幼稚園に行っても懐かしい気持ちになりました！園児の子たちと過ごしてたくさんの元気をもらってたのしかったです。また行きたいです！

・この度は保育実習という機会を下さり誠にありがとうございます。

いろいろな遊びを園児たちとできてとても楽しかったです。たくさんコミュニケーションをとることができ、小さい子どもたちとの関わり方についてさらに深く理解できるようになりました。とてもいい経験ができたので将来の夢にいかすことができるように頑張っていきたいです。



「おたる子ども会議」で市長と交流！

小樽市内の中学生がまちづくりなどについて市長と意見を交わす「おたる子ども会議」が7月18日（土）に行われ、本校から3年生の小嶋海星さん、齊藤永真さん、金井絢音さん、山道小梅さんの4名の生徒が参加してきました。



～参加した山道さんの感想より～

7月18日に行われた「おたる子ども会議」に参加しました。会議では、最初に「子どもの権利条約」について学びました。今まで名前を聞いたことはあっても、内容について深く考えたことはありませんでした。特に印象に残ったのは、「子どもの意見が尊重されること」も大切な権利の一つだということです。話し合いの中では、「安心して話せる場所」についても考えました。私は家族や仲の良い友人、先生など、自分の話をきちんと聞いてくれたり、秘密を守ってくれたりする人には安心して話すことができます。一方で、学校では周りの反応や、自分の話したことが他の人に広まるのが気になり、話しにくいと感じることもあります。意見を言う権利があっても、安心して話せる環境がなければ、なかなか自分の考えを伝えることはできないのだと思いました。

市長さんとの対話では、他校の生徒から「小樽にスターバックスがほしい」という話が出た際に、自分もほしいと思って過去に声をかけたことがあると話していて、思っていたよりフランクで親しみやすい人だと感じました。私たちの意見にも一つ一つ返事をしてくれたことが嬉しかったです。

今回の会議を通して、子どもの意見でも聞いてもらい伝えることには意味があるのだと感じました。今はまだ選挙権はありませんが、18歳になったら選挙にもきちんと行き、自分の意見を伝えていきたいと思いました。

9月の行事予定

★：北陵学習室（放課後）

			給食
1	火	生徒会選挙公示 ★	○
2	水	全国学力・学習状況調査結果返却日 ★	○
3	木	専門委員会 ★ スクールカウンセラー来校日	○
4	金	特教協中学校合同体験学習 市教研 5h授業 部活動休養日	○
5	土	市P連子育て研修会 小樽水産高校学校説明会	
6	日		
7	月	小中合同授業（5年生③） ★	○
8	火	部活動休養日（～11） ★	○
9	水		★ ○
10	木	全学年復習テスト（3年生総合A） ★	○
11	金	第1回定期テスト（全学年） 5h授業 部活動休養日	○
12	土		
13	日		
14	月	小中合同授業（6年生③） ★	○
15	火		★ ○
16	水		★ ○
17	木	スクールカウンセラー来校日 ★	○
18	金	2年生職場体験学習 小樽桜陽高校学校説明会	○
19	土	第33回北海道中学校新人陸上競技大会	
20	日	第33回北海道中学校新人陸上競技大会	
21	月	敬老の日	
22	火	国民の休日	
23	水	秋分の日	
24	木	職員会議 5h授業 部活動休養日	○
25	金		★ ○
26	土		
27	日		
28	月		★ ○
29	火	学級役員選出 ★	○
30	水		★ ○

【2学期の重点的な取組について】

2学期がスタートするにあたって生徒たちと「時と場面に応じた正しく丁寧な言葉遣いができるようになります」と確認しました。教職員も含め言語環境を整えることで、より安心して気持ちよく生活できる環境づくりと高校進学や社会へ出た際に必要となる力の育成を目指します。

